

平成17年度第2回宇都宮市社会福祉審議会児童福祉専門分科会議事録

日 時	平成18年1月23日(月) 午前10時～午前11時50分	
場 所	第1委員会室	
出席者	分科会長	伊達悦子委員
	分科会長職務代理者	瀬尾充男委員
	委員	塚田典功委員, 安納ミヤ子委員, 加藤佳子委員, 齋藤誠一委員, 内田貞子委員, 鎌倉三郎委員, 本間直子委員,
	市民参加者	鈴木征夫委員, 宮路順子委員
欠席者	風間嘉信委員, 石嶋勇委員, 今井恭男委員, 佐藤和子委員, 荻野夏子委員,	
事務局	高橋児童福祉課長, 上野保育担当副主幹, 埴企画係長, 上岡児童育成係長, 伊沢家庭福祉係長, 高瀬総括主査	
発言者	内 容	
家庭福祉係長	<p>会議次第「1 開会」</p> <p>「(仮称)宇都宮市母子家庭等自立促進計画」の素案がまとまりましたので,委員の皆様にご説明し,ご意見をいただきたい。</p>	
分科会長	<p>児童福祉専門分科会は市が計画案を作成するにあたり,また作成された計画案について,専門的な見地から意見の交換をおこないそれを「提言」とし,市に提出するものです。皆様の忌憚のない意見をいただきたい。</p>	
事務局	<p>会議次第「2 報告事項(仮称)宇都宮市母子家庭等自立促進計画に係る検討経過」について事務局の説明をお願いします。</p> <p>(事務局説明・・・別紙1)</p> <p>1回目の分科会では,実態調査の結果,社会環境の変化から課題の総括と今後の施策の方向性についてご協議いただく。</p> <p>その後,委員の皆様から意見をいただいた「子どもの立場に立った問題解決」,「安心して就労できる子育て支援」などを参考に,基本理念とその実現に向けた基本目標,基本方向ごとに取り組む具体的施策や重点事業,目標値の設定などについて策定委員会において検討を重ね,計画案をまとめた。</p>	
分科会長	<p>経過報告について質問はありませんか。(なし)</p> <p>それでは,会議次第「3 協議事項」の「(1)計画の基本理念,基本目標等」について事務局の説明をお願いします。</p>	
事務局	<p>(事務局説明・・・別紙2)</p> <p>課題の総括から基本理念,基本目標,施策推進の基本方向について説明</p>	

分科会長	<p>(質疑)</p> <p>自立促進計画の名称は現在仮称となっているが「母子家庭等」を今後どうするのか。社会通念上は「ひとり親」となっている。</p>
事務局	<p>名称は最終的に検討していただきたい。</p> <p>なお、計画での用語の定義については3頁に記載している。</p>
分科会長	<p>説明内容についてご意見はございませんか。(なし)</p> <p>それでは、「計画の基本理念、基本目標等」については案のとおり了承いただくということによろしいか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、「(2)計画(案)について」の協議にうつりますが、分科会としてまとめる「提言」に関わる大変重要なところになる、十分議論していただきたいところである。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明・・・別紙3,資料1,資料2)</p> <p>別紙3の施策体系を中心に、素案により重点事業、目標設定事業、新規事業、計画の推進に向けて、を説明し、次に概要版、素案により計画書の全体構成や主な内容について説明。</p>
分科会長	<p>就職活動をする場合の子育てサービスの支援はどこに入るのか。</p>
事務局	<p>素案34ページの体系の「1子育て、生活支援の充実」に、ニーズに応じた保育事業がある。</p>
本間委員	<p>保育園における4月の待機児の状況を教えてほしい。</p>
事務局	<p>市全体で32名いました。少子化ですが多くの方が申込みに来られる。待機児の解消は難しいと思われる。</p>
本間委員	<p>就職活動支援のため、保育園が若干でもゆとりがあると一時保育ができる。優先入所と一時保育でカバーできないか。</p>
事務局	<p>日常生活支援など各種事業を組み合わせ、就職活動を支援したい。また、相互扶助ができる支援の強化が必要と考えている。</p>
安納委員	<p>母子連の若年部会に相互扶助ができる仕組みがある。PR等制度の周知に努めたい。</p>

鈴木委員	自立支援プログラム策定事業は就職活動を支援する人に対するプログラムか。
事務局	就職活動をしている人への支援事業です。特に児童扶養手当受給者を中心に、その人にあった就職相談のプログラムを作成し、支援していくものです。
分科会長	生活保護の方が不登校の相談に見えた時、小さなお子さんを何人か連れてきた。その他行政の窓口に行った時も同様の状況があった。保育所など関係機関同士の連携が必要だと痛感した。
本間委員	<p>情報提供は就業だけのように見える。</p> <p>母が日常生活においてできないと思っている他の人が両立できていることを情報提供したほうがよい。</p> <p>また、生活環境が厳しく8時間勤務が難しいこともあろう。母子家庭の状況を理解し、雇用した事業主からさらに別の事業主にも啓発する仕組みも必要と思われる。</p>
事務局	「基本目標5 (1) 地域に密着した相互扶助的事業の充実」の主な事業に「母子家庭等日常生活支援事業」があり、「支援を受けたい人」と「支援したい人」を募り相互に扶助する事業があります。また、事業主への周知、雇用の啓発についてもさらに充実に努める。
分科会長	<p>相談があってから情報提供をするのではなく、ニーズをキャッチする方法も検討してほしい。</p> <p>本間委員の意見を反映していただくということで「計画書(案)について」は原案のとおり了承してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>次に、「(3) 提言書(案)について」ですが、皆様からのご意見を児童福祉専門分科会の提言書としてまとめ、宇都宮市へ提出したいと考えている。</p> <p>皆様からの意見等を私のほうで提言書の案とし、まとめていこうと考えている。今回は提言書の構成案について事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(事務局説明・・・別紙4)</p> <p>別紙4「提言書の構成(案)」, 資料1の「計画の特徴」, 素案49ページ「第7章計画の推進に向けて」を説明。</p>
本間委員	素案78ページの目標値を見たが、母が休めないから長時間延長保育等を実施するのか。長時間働くことを市や厚労省からお勧めしている訳でないことも知っておいて欲しいと思う。
分科会長	就労のための支援がこどもの発達に影響がないようにする必要はある。

	<p>児童虐待において中学生は少なくなってきたが、小学生は増えている。家庭機能に触れる部分も表してほしい。</p>
事務局	<p>お子さんの健全な育ちを推進する環境をつくる必要がある。</p> <p>次世代育成支援行動計画でも、家庭の絆を大切に考えています。今言われたことは提言書の中で表記していただき、次世代育成支援行動計画と一連の位置付けとして推進していきたいと考えている。</p>
加藤委員	<p>母子・寡婦の方は日常生活に困っている。インフルエンザ等にかかった場合に、「休めない」のではなく「休める子育て」が必要。親・兄弟がそばにいてくれるのが自然な形。</p>
分科会長	<p>子どもが不登校になったり、熱が出て保育園に迎えに行くなど職場を休むと、退職させられることがある。事業主に母子家庭等の状況が十分に理解されるようにしてほしい。</p>
安納委員	<p>子どもが熱を出したときや保育園への送迎など、子育て支援を母子連の各地区で実施している。各地区の会長や事務局に連絡いただければ支援したい。</p> <p>子育て支援と併せて就労支援もしている。個人情報にも細心の注意をはらい制度の周知PRに努めたい。</p>
分科会長	<p>行政は個人情報保護があり難しい部分もある。各団体を有効に活用するのも大事なことだと思う。</p>
瀬尾委員	<p>母子寡婦福祉資金の貸付けが重点にあがっている。実績も上がっている。貸付け業務なので償還事務もあり大変だと思う。同様の貸付け業務は県社協も実施している。生活支援も実施する中それぞれ大変だが、有効活用できるよう連携を図ってほしい。</p> <p>公営住宅の入居もなかなか入れないのが現状だ。</p>
事務局	<p>母子寡婦福祉資金は国の制度で、市が窓口になります。市の母子自立支援員2名が貸付け業務のみならず、就業相談も含めた自立支援を併せて実施しています。</p> <p>市営住宅の優先入居はひとり親、高齢者、障害者を対象に実施しています。優先枠の抽選で一度落ちてても再度全体の抽選が受けられます。</p>
塚田委員	<p>人気があるところはなかなか空きがない。</p>
分科会長	<p>必要な人が入居できるようにしてほしい。</p>
鎌倉委員	<p>抽選は自分で引き公平にされている。また、所得調査をして超過者はその家賃で入</p>

	<p>ってもらっている。</p>
塚田委員	<p>留守家庭児童会の会長をやっているが、放課後預かったあとファミサポや休日の保育に行っている。子どもは泣き言をいわないがいつ、母親と一緒にいるのか。</p> <p>子どもの目線でものを見ることを入れてほしい。</p> <p>母子連の認知度が少ないが、加入者を増やし同じ悩みを持つ人が話し合ったり、発散できる場が必要。</p> <p>上野百貨店跡地のこどもセンターも託児所ではなく、親の交流の場にしてほしい。要望としておきたい。</p>
宮路委員	<p>小さなグループのシングルマザーの会がある。横の連携の強まりを支援してほしい。</p> <p>母子家庭と父子家庭の交流を考えてほしい。</p> <p>母と子が接する時間が少ない。子どもが病気でも就労しなければならない。病時、病後時の対応もぜひ検討してほしい。</p>
分科会長	<p>各種アイデアがうまく組み込めるといいと思う。</p>
事務局	<p>ファミサポなどお互いの信頼関係を築く事業も実施している。各種事業内容の充実ができるよう考えている。</p>
分科会長	<p>施策の方向性や体系についてはいかがですか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>提言書の内容について事務局と私で進めてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
	<p>次に、「4 今後のスケジュール」について事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>(事務局説明・・・別紙5)</p>
分科会長	<p>全体をとおして質問はありませんか。(なし)</p> <p>(閉会)</p>